

令和2年度 小平第二みどり作業所 事業計画書

1 はじめに

令和元年度は、職員の離職が多く、支援体制が安定せず重点課題であった、利用者支援におけるPDCAサイクルの充実、就労支援事業の拡充、職員のスキルアップ、相談支援の充実については全般的に不十分な結果となった。その反省を生かし、令和2年度は最重要課題である職員態勢の充足と定着化に努める必要がある。職員の新規採用を進めながら、支援体制の充足を図るとともに、前年度の重点目標であった利用者支援における支援方針の共有化や、自主製品であるクッキーやパンの製造態勢の安定化、職員間でのコミュニケーションの活性化等に取り組みながら、チームワークの形成に繋げていきたい。

前回の報酬単価改定に伴う給付費の減額から、安定的な事業運営を行うためには、利用者数を増やしていく必要がある。令和2年度は、近隣の特別支援学校卒業生を新たに1名受け入れ、44名でスタートとなるが、最大50名まで受け入れが可能である。今後も引き続き、事業所見学や体験実習等を積極的に受け入れながら、安定的に利用者確保に努めていきたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 44名(令和2年4月1日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 14名(令和2年4月1日現在)

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	3名	(常勤換算3.0)
生活支援員	8名	(常勤換算5.5)
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
 - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
 - ② 生き生きと働ける職場
 - ③ 職業指導の充実
 - ④ 賃金の保障
 - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
 - ① 日中活動の支援
 - ② 豊かな生活の支援
 - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
 - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援

- ⑤ 利用者への相談支援
- ⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 緑化推進事業
- ⑥ 受注作業（切手仕分け作業等）

2) 生活支援事業

- ① レクリエーション（月1回実施）
- ② 音楽教室（月2回実施）
- ③ 旅行（年1回実施）
- ④ 生活支援プログラム（週3日実施）
- ⑤ 夕方生活支援事業（週3日実施）

3) 行事

- 4月 永年勤続表彰式・新社会人を祝う会
- 5月 障がい者運動会
- 6月 ボーリング大会
- 7月 レクリエーション
- 8月 川遊び、みんなの音楽会
- 9月 レクリエーション
- 10月 一泊旅行
- 11月 レクリエーション
- 12月 忘年会
- 1月 成人を祝う会
- 2月 カラオケ大会
- 3月 花見

6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～	9:00
朝 礼	9:15～	9:30
作 業	9:30～	10:30
休 憩	10:30～	10:45
作 業	10:45～	11:45
片付け	11:45～	12:00
昼休み	12:00～	13:00
昼 礼	13:00～	13:15
作 業	13:15～	14:15
休 憩	14:15～	14:30
作 業	14:30～	15:30
終 礼	15:30～	15:50
送 迎	15:50～	16:30
清掃・記録等	16:30～	17:00
職員打ち合わせ	17:00～	17:30

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) 利用者の就労支援の充実。

- ①個別支援計画における作業支援計画を丁寧に作成し、評価、見直しを実施する
- ②作業技術の向上と作業の可能性の伸長
- ③作業に対する意識の向上と職業人としての成長を支援する

(2) 就労支援事業の製造態勢の安定化

製造態勢の安定化を図るため中長期計画を以下の通り設定する。

① クッキー事業

令和2年度 目標売上 4,560,000円
(前年度実績5,700,000円見込みより、114万円減)
4月：職員2名（ベテラン1名、新人1名）
利用者12名
1日平均製造個数：100個
年間：職員4名（ベテラン1名、新人3名）
利用者18名
1日平均製造個数：130個

令和3年度 目標売上 5,200,000円
4月：職員4名（ベテラン1名、新人3名）
利用者18名
1日平均製造個数：120個
年間：職員4名（ベテラン1名、新人3名）
利用者18名
1日平均製造個数：150個

令和4年度 目標売上 5,200,000円
4月：職員4名（リーダー1名、ベテラン1名、中堅2名）
利用者18名
1日平均製造個数：120個
年間：職員4名（リーダー1名、ベテラン1名、中堅2名）
利用者18名
1日平均製造個数：150個

② パン事業

令和2年度 目標売上 2,380,000円
(前年度実績2,300,000円見込みより、8万円増)
4月：職員3名（リーダー1名、中堅1名、新人1名）
利用者10名
1日平均製造個数：100個
年間：職員3名（リーダー1名、中堅1名、新人1名）
利用者10名
1日平均製造個数：110個

令和3年度 目標売上 2,600,000円
4月：職員3名（リーダー1名、中堅1名、新人1名）
利用者10名
1日平均製造個数：110個
年間：職員3名（リーダー1名、中堅2名）
利用者10名
1日平均製造個数：110個

令和4年度 目標売上 2,800,000円
4月：職員3名（リーダー1名、中堅2名）
利用者10名
1日平均製造個数：120個
年間：職員3名（リーダー1名、中堅2名）
利用者10名
1日平均製造個数：120個

(3) 生活支援の充実

健康問題や将来の生活、精神面の安定など作業活動以外の生活全般に係る課題について、関係機関と連携の上、支援を行う。

2) 人材育成

(1) 職業指導員、生活支援員

- ① 作業支援計画を基に支援方針の統一を図ると共に、一人ひとりに丁寧な支援を実施する。
- ② 支援経過の記録を丁寧行うと共に、ミーティング等で報告し合い、支援計画の実施状況や達成度について情報の共有を図る。
- ③ 共有した情報を基に、職員間で意見交換を行い、支援の充実を図ると共に、必要に応じた計画の見直しを行う。

3) 経営管理

(1) 訓練等給付費の安定確保

利用者受入れの中長期計画（近隣の特別支援学校卒業生、自治体、支援センターからの紹介者など）を以下の通り設定する。

令和2年度（3名受入）

1日平均利用者37人（46名在籍）

職員態勢13名（常勤換算10.7名 管理者含む）

令和3年度（2名受入）

1日平均利用者39人（48名在籍）

職員態勢14名（常勤職員1名増員）（常勤換算11.7名 管理者含む）

令和4年度（2名受入）

1日平均利用者41人（50名在籍）

職員態勢14名（常勤換算11.7名 管理者含む）

(2) 月次試算による経営状態の把握

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員および生活支援員

救助担当 職業指導員および生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。